

報道関係者 各位

放送批評懇談会



発表！2023年12月度ギャラクシー賞月間賞

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで61年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、「ギャラクシー賞」活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する「月間賞」を選定しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年の受賞作を決定いたします。2024年5月下旬開催予定の贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。放送の専門誌・月刊「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース（<https://houkon.jp/galaxy-database/>）」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

放送批評懇談会

ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS



<お問い合わせ先>

NPO法人 放送批評懇談会／担当：福島
〒160-0022 新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F
Tel：03-5379-5521 Fax：03-5379-5510
kondankai@houkon.jp <https://www.houkon.jp/>

放送批評懇談会



2023年12月度ギャラクシー賞月間賞

新しいカギ「学校かくれんぼ 1年間の激闘を総ざらいSP！」

12月2日放送 19:00~21:00 フジテレビジョン

新しい視聴者参加番組の形を作った名企画の総集編。チョコレートプラネット、霜降り明星、ハナコが学校に出向き、校舎内に隠れる「学校かくれんぼ」。開始以来、12校、15,000人の生徒と対決してきた。芸能人の知名度を活かしたテレビならではの企画。出演者や美術スタッフが楽しそうにしているのが印象的で、探す生徒たちの笑顔が実にいい。

夜ドラ「ミワさんなりすます」

10月16日~12月7日放送 22:45~23:00 日本放送協会

原作は青木U平によるコミック。原作をリスペクトしながら、オリジナル部分をうまく入れ、ドラマならではの物語を構築。ミワさん役の松本穂香のオドオドとした様子や表情、声、佇まいなどすべてが完璧。ミワさん憧れの俳優・八海役の堤真一、家政婦の先輩・片桐はいりなどベテラン俳優の巧みな演技がドラマのクオリティを引き上げた。

プロフェッショナル 仕事の流儀「ジブリと宮崎駿の2399日」

12月16日放送 19:30~20:50 日本放送協会

80代となった宮崎駿に密着。謎多き新作映画『君たちはどう生きるか』の核心となる主題に亡き高畑勲への訣別があると解き明かす。かつて50代の宮崎に長期密着したドキュメント作品『『もののけ姫』はこうして生まれた。』を思い返した。主題や作品は変われど創作現場で苦悩の時間を重ね続ける「宮さん」の変わらぬ姿に心を打たれる。

水曜ドラマ「コタツがない家」

10月18日~12月20日放送 22:00~23:00 日本テレビ放送網

夫・息子・父、三代にわたるダメ男たちと、仕事も家庭も妥協せず、妻・母・娘を背負って立つ主人公万里江のトークバトルが秀逸。ダメな男たちの言い分にも時代が映る。計算されつくした脚本と、小池栄子、吉岡秀隆、小林薫ら、演技巧者たちが繰り広げる家庭騒動は、忖度や建前を突き抜け、ある意味では令和の理想の家族を見たようにも思う。

★詳細は月刊誌「GALAC」2024年3月号に掲載します